

【学習目標/学習方法】

- 音声・語句・語彙・文法・漢字・文字などの言語の知識をもとに、
- ①社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
 - ②社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
 - ③言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにする努力をし、国語力を高める。

1年	4月	5	6	7	8	9	10	11	1	2	3	
	オリエンテーション	学びをひらく	新しい視点で	言葉に立ち止まる	情報・読書	夏休み	心の動き	筋道を立てて いにしえの心にふれる	価値を見い出す	冬休み	自分を 見つめる	第1学年 学習総ま とめ
	7	11	13	5	4		18	28	14		27	13

学年
計140h

2年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	広がる 学びへ	多様な 視点から	言葉と 向き合 う	情報・ 読書	夏休み	人間のきずな	論理を捉えて いにしえの心を訪ねる	価値を語る	冬休み	表現を見つめる	第2学年 学習総 まとめ	
	18	13	7	2		18	28	14		27	13	

学年
計140h

3年	4月	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	深まる 学びへ	視野を 広げて	言葉と ともに	情報・ 読書	夏休み	状況の中で	自らの考えを・価値を生み出す	いにしえの心を 受け継ぐ	冬休み	読書に親しむ・ 未来へ向かって	中学3年間学習 総まとめ	
	13	9	6	2		10	19	16		10	20	

学年
計105h

・授業について 国語の力は一朝一夕につくものではありません。授業を大事にしながら、毎日少しずつ学習を積み重ね、じっくりと力を身に付けていきましょう。 * 忘れ物をしないようにしましょう。また提出物は期限を守って確実に提出しましょう。 * 先生の説明や友達の発言は集中して聴きましょう。 * 検定試験に合格するなど、国語で頑張りたいことの目標をもちましょう。 * 板書事項は、必ずノートを取り、授業の終わりにには場合に応じて授業記録を書きましょう。 * 発言や話し合いの機会には、根拠を明確にしながら、積極的に自分の意見を伝える努力をしましょう。 * 発言や話し合いの機会には、人の意見をよく聞き、自分の考え、集団の考えをさらに発展させ深めるという意識をもち発言しましょう。	・家庭学習について 授業の復習をしっかりと行いましょう。 ①授業で学習した所を音読しましょう。 ②そのとき、分からない語句に印を付け、辞書で調べてノートに書きましょう。 ③学習した範囲の新出漢字を繰り返し練習して、覚えましょう。 ④授業で学習した所をノートやプリントを見返して、大切などところを確認しましょう。 ⑤ワークブックの問題をやり、自己採点し、間違いの原因を分析をしましょう。 ・発展的な学習について ・新聞のコラム欄(興味がある人は社説)を読み、それに対する自分の意見や感想を200字程度で要約してみましょう。 ・懸賞作文や感想文コンクールなどに応募して自分の力を試してみましょう。 ・教科書で学習した作家の他の作品を読んでみたり、同じテーマの本を複数読んだり、比較しながら読書を楽しむ機会を作っていきます。
--	---

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
評価観点	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようになる。	「話すこと」「聞くこと」「読むこと」「書くこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養う。社会生活における人とのかかわりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりする力を養っていく。	知識及び技能を獲得したり、思考力、表現力、判断力等を身に付けるために、ねばり強い積極的な学習を行おうとしている。今までの学習を生かして、これからの学習に見通しを持って取り組もうとしている。
評価資料	・定期テスト ・プリント ・漢字・文法・語句テスト ・授業観察	・定期テスト ・小テスト ・プリント ・朗読 ・リスニング ・課題作文 ・授業観察	・ノート・プリント等 ・授業・課題への取り組み(発言・話し合い・教え合い・個人作業等) ・漢字テストへの取り組み ・暗唱課題への取り組み